

いろいろと

ーてまりでつながろうー

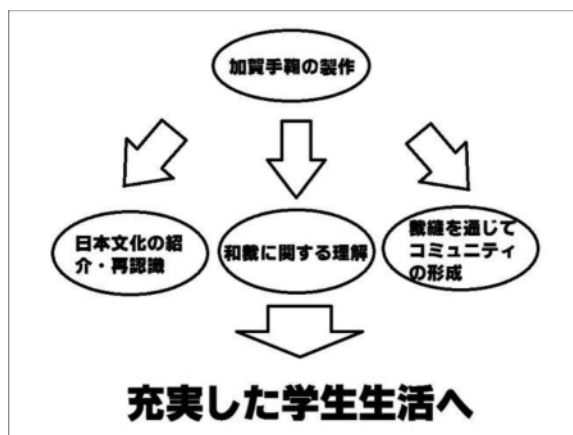
代表者 松下 真子 (人文B2年)
構成員 森野 美由紀 (人文B2年)

1. はじめに

本プロジェクトは、手毬の製作・展示を通じて以下の3点を大学生に提供することを目的とする。

- ・ 日本文化の紹介と再認識
- ・ 和裁に関する理解
- ・ 裁縫を通じたコミュニティの形成

この3点を主軸に置き、より多くの大学生の大学生活が充実することを期待する。



プロジェクト「いろいろと」の基本方針

2. ワークショップ

本プロジェクトの定期的な活動として、週に1度、自主活動ルームにて手毬制作のワークショップを行っている。(前期：火曜日 13:00～15:00、後期：14:30～16:30)

ワークショップでは、参加者には手毬の模様部分の刺繍の工程を体験してもらうようにし、あらかじめ用意した土台となる鞠から好きな飾り糸を選び、手毬の模様部分を刺繍していく工程を行った。



ワークショップの様子

3. サマープログラムでのイベント開催について

7月25日, 8月1日。自主活動ルームにて短期留学生に向けてイベントを開催した。中国, 台湾から24人の留学生が参加し, 日本文化として手毬を中心に紹介を行った。

内容としては, 留学生の前での手毬制作の実演, 手毬を飾り立てるときに用いられる絹糸を利用して, 日本独自の色の呼び方についてクイズ形式で行った。イベントの中で, 実際に模様をかがる工程を間近で見たり, 完成した作品を触ったり, 写真に収めたりすることによって, 普段見ることがない手毬について知るきっかけとなり, また, 糸の色当てクイズをする中で, 色の名前による文化の違いについて理解を深めることができたと思う。



サマープログラムでの手毬製作の実演と色当てクイズに用いた道具

4. オープンキャンパスへの参加

8月5日, 自主活動ルームにて山口大学オープンキャンパスに参加した。

オープンキャンパスでは, 6月からの活動の様子をポスターの形式で写真を交えたものを展示し, またメンバーは当日スタッフとして参加した。

当日は, 会場に訪れた高校生や保護者の方々に大学生活の様子や, 受験について, さらに「山口大学おもしろプロジェクト」についての概要や, 実際の活動の様子などを説明した。



オープンキャンパスでの様子

5. ホームカミグデーへの参加

10月28日、山口大学吉田キャンパス内にてホームカミグデーに「山口大学おもしろプロジェクト」として参加した。

イベントでは、プロジェクト内での活動について紹介したポスターや実際に製作した手毬、手毬を作る際に実際に用いる絹糸の展示、手毬製作の実演を行った。

当日は、大学関係者の方々をはじめ、近隣の住民の方達も来場し、来場者からの手毬についての質問に答えた。



ホームカミグデーの様子

6. 針供養への参加

2月11日、防府天満宮にて行われた針供養へ留学生を含めた有志で参加した。

当日は大雪だったが、普段体験することができない神事に立ち会うことができ、また、物を大切にすることについて、改めて考える、感じる良いきっかけとなったと考える。

また当日は、同じ会場内で「ほうふお針祭り」が開催されており、地域のものづくりをしている方々のワークショップにも参加し、有意義な一日を過ごしたと感じている。



防府天満宮前にて



針供養の様子



ほうふお針祭りの様子

7. 課題と展望

プロジェクトを通じて、新しい交流や普段経験することはできないようなことに関わる良いきっかけとなったと考えている。しかしながら、プロジェクトを進めていくうちに、参加者の顔ぶれが固定化し、当初の目的であった「多くの大学生の大学生活が充実することを期待する。」という部分が達成していないと考える。

また、ワークショップでは特性上、複数回の参加がどうしても必要になってしまったのだが、そのことにより、参加者の中には日程との予定が合わず、完成まで工程を進めることのできない方もいた。

今後の展望として、参加者やメンバーの技術向上のためを主な理由として、「山口大学おもしろプロジェクト」ではなく、サークル活動として今後も活動していくことを予定している。